

港区フリモ

港区フリモの中広は、東証一部・名証一部に上場しました [証券コード:2139]



火の用心
毎月十九日は防火の日 消防団連合会



フリモAR
フリモARで
動画をチェック!

巻頭特集

高らかな音色と誇りを持って
港区消防団連合会ラッパ隊

特別企画

- ◎フリモのこの街クローズアップvol.37 南陽エリア
- ◎新たな出会いと門出を祝う特別企画 春の歓送迎会特集
- ◎名古屋の福祉情報をお伝えします! なごやか福祉通信
- ◎「わたしの気分を上げてくれるサロンはココ!」 MY BEST SALON
- 地元の求人情報が満載! JIMJOB シモジョブ

表紙にスマホをかざすと
動画が見られる!



Download on the App Store | Get it on Google play | フリモARを検索

巻頭特集
高らかな音色と誇りを持って

港区消防団連合会ラッパ隊

区内の消防団の

関連行事に登場するラッパ隊。

表彰対象者の栄誉をたたえるために

ファンファーレを鳴らすなど

さまざまな場面で活動しています。

日頃の消防団活動に加え、

団員の士気を高めるため

演奏を続ける隊員を紹介します。

市内唯一のラッパ隊 4音の音色を奏でる

名古屋市内では、原則として各区の学区ごとに消防団が置かれています。港区は20学区と、名古屋市で唯一の水消防団があり、合計21の消防団がボランティアで活動。地域住民の安全・安心な暮らしを支えています。

区内の各消防団に所属する有志で結成されるのが、港区消防団連合会ラッパ隊です。演奏曲は多数ありますが、大きく分けて儀礼の曲と行進の曲の2つに分けることができ、演奏する場、持ち時間に合わせて曲を決めています。「昔は市内の他の消

真ちゆうでつくられたラッパは軽く、片手で持って吹くことが可能。4音を出せるまでには長い練習期間が必要です



隊員の士気を高めるため、ラッパ隊オリジナルTシャツを制作しました

防団でもラッパ隊を結成していたのですが、一時、ラッパ隊が完全になくなったんです。そこで、港区で復活させようと結成したのが始まりです」と、名古屋市港区消防団連合会長の丸井利夫さんは話します。2005年に区内の団員から隊員を募り、結成されました。消防団活動と並行して原則第2・第4日曜日の午前中に練習しています。

「最初はまったく音が出ないので、しっかりと音を出す練習から始めます」と話すのは、港区南陽消防団団長であり、ラッパ隊結成時から活動する隊長の坂野柁男さん。

隊員が使うラッパは、ナチュラル・トランペットと呼ばれるもの。ト

港区消防団連合会ラッパ隊の皆さん



2015年の「港区ポンプ操法大会」の開会式において、ラッパ演奏しました

有事に備えて放水訓練も実施しています



AEDの使い方をグループに分かれて指導します



さまざまな事態に備えて日頃から訓練活動を続けています



大規模な避難誘導訓練も港区の自主防災に不可欠です



団員が互いの技術を披露するポンプ操法大会

さまざまな場で披露誇りを胸に臨む

ランペットは指で押すピストンでバルブを開閉して音の高低を操作しますが、ナチュラル・トランペットは開閉する装置がないため、マウスピースに当てた唇の形、送り込む息で音程を変えるタンギングと呼ばれる技法を用います。出せる音は「ド」「ミ」「ソ」「シレ」の4音のみですが、シンプルな構造であるため習得に時間を要するのです。

ラッパ隊の練習には、元名古屋市消防音楽隊の隊員が指導にあたります。国内においてラッパ隊の活動が盛んな長野県では消防団活動とは別に、専属で活動するラッパ隊がいます。年に一度、演奏技法を披露する「長野県消防ラッパ吹奏大会」を開催しているほどです。

港区のラッパ隊も、長野県のラッパ隊が使用する教本をもとに練習しています。曲はアップテンポの「速足行進曲」や厳かな「団旗に対する敬礼」、さらに「ファンファーレ」、「ラッパ吹きの仲間たち」など、どこかで耳にしたことのある馴染み深い曲もあります。

日頃の練習成果を披露するのは、港区消防団の関連行事の場。5曲ほど演奏します。一人で1曲を最初から最後まで吹き切るのは息が続かず至難の技ですが、大勢で吹くことで隊員たちは互いをカバーし合っています。

披露する場で最も盛大なのが、3年に一度行われる消防団連合観閲

式です。式典に参加する名古屋市長や副市長を迎える際に、ラッパ隊は整列して勇ましい音を鳴らす榮譽礼を行います。ほかにも、毎年8月上旬の「金山夏祭り」や秋に実施する「ポンプ操法大会」、「港区区民まつり」で演奏しています。

結成から10年以上が経過したラッパ隊。消防団行事でラッパ隊が吹いている姿を見て、「私もしたい!」と手を挙げる団員もいます。「ラッパ隊が出来たことで、式典そのものにも規律が生まれるのを感じています。実際、私たち隊員もラッパの音を聞けば背筋が伸び、襟を正されます。それに、私たちの演奏で来賓の方々を出迎えられることは何よりも誇りなんです」と、坂野さんは思いを口にします。

安心・安全を守るため防災活動に取り組む

隊員は、あくまで港区の団員であることが大前提。日頃から消防団の活動にも精力的に取り組んでいます。火災や自然災害発生時に消防署員とともに業務にあたるほか、要請があれば地域住民のもとに出向き、自主



2013年の「港区区民まつり」でも、息が合ったラッパの音色を披露しました

ラッパ隊に興味があり、区内在住または在勤の方は消防団に入団してください



名古屋市港区消防団連合会長 丸井利夫さん

団員でラッパ隊に興味を持つ人は、ぜひ一度練習の見学に来て欲しいですね



港区南陽消防団 団長 ラッパ隊長 坂野 恒 さん

防災訓練も実施。消火器を使つての初期消火活動、AEDを用いた心肺蘇生方法などを指導しています。港区は津波避難対象地域の一つに指定されています。発生が懸念される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えるため、自主防災訓練実施時に津波に対する訓練も行っています。一次避難場所に地域住民が集まった後、改めて3階以上の建物へ団員が誘導して避難する訓練をしています。日夜、地域住民の安全・安心を守るために活動を続ける消防団。その団員で結成されるラッパ隊の勇姿は「港区区民まつり」などで見られます。機会があれば足を運び、演奏を聴いてはいかがでしょうか。